

# 寺報

No.594

平成29年2月

蓮華寺  
發行

## 御聖訓

法華經修行の者の、所在の処を  
浄土と思ふべし、なんぞ煩しく他  
処を求めんや。

『守護国家論』



### (解説)

「法華經の行者の求める浄土はどこにあるのですか」とお尋ねした弟子や信者に対して、日蓮大聖人は「法華經を信ずる人のいる世界、また法華經を修行する人がいる世界、そこがそのまま浄土（仏様の世界）なのだから、いちいち他の処を求める必要はありません。」と明言されました。

どうしても我々は、仏様の世界をどこか遠い処か、遙か彼方の理想の場所に求めたりします。

また、この世での生活が苦しい時とか、人生に悲観した時などともついでに来世での浄土を望みがちです。

しかし、この世で苦しみを断ち切れない者が、例えあの世へ行つたとしても、その心の苦しみを断ち切れる事が出来るでしょうか。

無理なのです。

法華經・お題目を唱え、靈神符（お守り）を着体しています皆様は、例えどんな処であつてもその場所が仏様の世界であり、即ち仏様のいる世界であると信じ、日蓮大聖人の御教えを実践していかなければなりません。

# 節分会のお知らせ 二月三日(金)

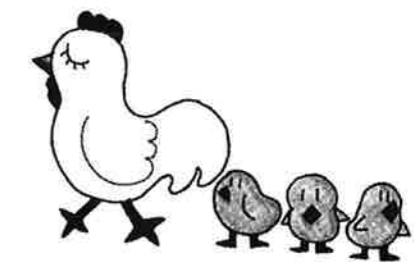
午後六時開始

男性大厄	数え二十五歳	平成五年生れ
	数え四十二歳	昭和五十一年生れ
女性大厄	数え十 九歳	平成十一年生れ
	数え三十三歳	昭和六十一年生れ
大正十年生れ		
昭和八年・二十年・三十二年・ 四十四年・五十六年生れ		
平成五年・十七年・二十九年生れ		

その他

- ・前厄・後厄・還暦・古稀・喜寿・傘寿・米寿・卒寿・白寿など
- ・今年ご祈祷希望者はどなたでも

- ★厄払い・三 千 円  
◎豆まき◎祈願読上げ  
◎お加持◎厄札◎絵馬  
◎福豆のお土産等
- ★一般祈願・千 円  
(◎節分札◎祈願読上げ)



当山蓮華寺では、本年大厄(前厄・後厄も含む)に当ります男女、また干支の酉【とり】年に当ります年男・年女、更に今年特別にご祈祷を希望する方々に、まず厄払いのご祈祷とお加持を受けて戴き、次に豆まき(落花生)、最後に絵馬と厄除けのお札、お土産をお渡し致します。

この時、お渡しする「絵馬」は、その場合後でも差し支えありませんが、住所・氏名・数え年、そして一年間の願い事を書いてお寺にお納め下さい。

お寺ではこれを一年間、大本堂の御寶前に奉納し毎朝祈願のお経をお上げします。

また、厄除けのお札はご本人が寝ている部屋の柱の上の方に、一年間貼って下さい。

向きは、寝ている頭の方向が最もよろしいでしょう。必ずお願い致します。

②本人が来られない場合は、代理の方か、または帯・ベルト・衣類等をご持参下さい。

【随時受付中】

## 厄払い

私達が一生の中で、特に災難に遭う恐れが多く、慎しみたい年を『厄年』といいます。

男性は二十五歳と四十二歳、女性は十九歳と三十三歳の、いずれも数え年を『大厄』といい、またその前後の年を『前厄』『後厄』といひまして、この三年間を慎しむ風習が昔からあります。

厄年に当る人が、神仏の前で厄災の起こらないようにと祈念する行事を「厄払い」、また除厄(じよやく)祈祷(いひま)といひます。

日蓮大聖人は、法華経を信仰する事で「三十三の厄、転じて三十三の幸いとならせ給うべし」と教えられ、昔から信者の厄年の男女は、法華経・お題目の力によって除厄得幸を祈ってきました。

当山では、厄年以外の今年【酉年】の『年男・年女』また『還暦』『古稀』『喜寿』『傘寿』『米寿』等、更にその年の除災を願う方々は、どなたでもご祈祷を受ける事が出来ます。

また一般の参拝の方々も、除厄された方よりまかれる豆を拾い、今年の福を分けてもらって下さい。お願い致します。

## 第初行成満・加藤曉宏上人

### 『大荒行祈祷会』のお知らせ

当山に勤務しております、加藤曉宏上人がこの度、大荒行堂・第初行を成満し、その「祈祷会」が当山で開催されます。

一緒に修行されました青森県の五名の荒行僧と、更に今年度の正伝師様と共に二月二十五日(土)の午前十時に帰って参ります。

尚、当山での「祈祷会」の開催は加藤篤宏上人以来十二年ぶりとなりますので、どうか檀信徒の皆様はこの機会を逃さず、是非ともご参拝下さいますようお願い致します。

#### 【特別加持】・二千円

◎荒行僧全員より、大本堂内陣にてご祈祷・お加持を受け、また祈願の読み上げもしてもらいます。更に荒行札と護符を授与します。

#### 【一般祈願】・千円

◎荒行僧全員より、祈願の読み上げをしてもらい、祈願札を授与します。

※二月三日より受付します。

### 永代供養堂

当山会館の三階にあります「永代供養堂」は、今後後を見る事が出来ない仏様をご供養する所です。まず、当山指定のお位牌の正面に『ご戒名』または『先祖代々之諸精霊』と彫り、裏面には施主名を彫り御寶前にお祀りします。そして、蓮華寺のお寺が続く限り、永遠にご供養して参ります。ここでは、毎朝僧侶がお経を上げ、ご命日の日にはご戒名を読み上げますし、また先祖代々のご供養はお申込みのあった日に読み上げをしています。

### 永代供養塔

当山境内にあります「永代供養塔」は、今後、後を見る事が出来ない『個人のお骨』また『先祖代々のお骨』を埋骨し、永代に渡りご供養しております。ここは、毎月僧侶がお経を上げ、ご供養を欠かす事はありません。(注)どちらも詳細は、当山事務所までご相談下さい。

☎017-776-5840

### 身に着ける「お守り」

当山では、次の三つのお守りを、全檀信徒の皆様にならず身に付けて戴きますようお願いしています。

#### 霊神符



生命に係わる事故や災難から身を守るお守りで、必ず身に付けて、毎月交換して戴きます。

#### 五段のお守り



我々の計り知れない死霊・生霊・野狐・厄神・呪詛の五段の邪気から身を守るお守りで、年に一回交換します。

#### カード型ご本尊



日蓮宗の大曼荼羅御本尊を小型化したお守りで、右の二つのお守りを、更に強くお護りして戴く為に一緒に身に付けて、年に一回交換します。

### 『星祭』お申込みのお知らせ

当山では毎年三月に行われます『星祭』の期間中皆様のご家族のお名前と数え年を記入しました「星」(劍守札)をお祀りして、その年の善星が皆来し、悪星が退散して、一年間無事安泰でありますようにと祈願致します。

その時に、皆様がお受けになります「星」のお申込みは、事務所に置いてあります専用の用紙に、ご家族のお名前・性別・数え年・住所等をお書きの上、お早めにお申込み下さい。  
※劍守札(星)【二体・・・二百円】



どうか、檀信徒の皆様は、是非とも毎年この「星」(劍守札)をお申込み戴き、そして、いまだ知らない方がおりましたら、お勧めになりますようにお願い致します。

二月十三日(月)より受付します。

### 『御守護』札を

貼付しましょう！

当山で毎年年末に用意致します『御守護札』は、蓮華寺の檀家である証明と、その家をご守護する為のお札ですので、必ず玄関に貼付するようにして下さい。まだ檀家の中でも知らないで、貼付していない家庭も沢山あります。

どうか、今年度より貼付するようにお願い致します。



(一枚五百円) (販売中)

また、その年に家でご不幸などがあつた場合でも、御札・御幣等は必ず毎年取り替えるようにして下さい。

### ☆ 霊断

檀信徒の皆様で、日頃から何か困り事や悩み事がありましたら、迷わずに蓮華寺までご相談下さい。

日蓮宗に伝わる秘法『九識霊断法』にて当山僧侶が解決、ご指導致します。

なお、宗旨宗派は問いません。 ☎776-5840

【相談料は原則として三千元となります】

### 盛運祈願会へお参りしましょう

毎月ついたち午後一時からの、お守り（俱生靈神符）を戴く行事を「盛運祈願会」といいます。

皆様の中には、自らが参拝してお守りを戴く方、親戚や友人に頼んで戴く方、また直接お寺の事務所でお求めの方と、様々な方法でお守りを戴いている事と思います。

しかし、ついたちの日が仕事や諸用で忙しいとか、またご遠方の方は仕方ありませんが、時間にいくらか余裕のある方は、是非とも盛運祈願会に参拝してお守りを戴いて下さい。

そして、我々はただお守りを戴くだけではなく、御寶前に於きまして御本尊様・日蓮大聖人様・諸天善神・俱生靈神様に、

『二ヶ月間どうも有り難うございました。また、今月もよろしくお願い致します。』と、感謝する事が大切なのです。

更に、我々が知らず知らずの間に作って来た罪を、自らが懺悔滅罪し、一心に盛運を祈願して、俱生靈神の守護をより強くする事も忘れてはいけません。

### 『位牌壇』募集！

◎分割は三年間の内に、回数はご相談下さい。

◎下から上席に上がるには、差額を納めて戴きます。

◎特に青森では冬期間、お墓参りが出来ませんので、位牌壇がありますと、常にお寺に参拝出来ます。

◎お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱えられますので、皆様の御先祖や仏様が今後に渡り守り続けられていきます。

◎ご命日の時、旅行や所用などでご不在でも、ご予約戴ければ、『位牌壇』の前に追膳をお上げし、またお経もお上げします。

◎ご親戚やご友人への譲渡はご自由ですが、お寺にはご連絡下さい。

### 『聖徒団会員』募集！

毎月ついたちの「盛運祈願会」の中で、住職上人が各会員の『家内安全』をご祈願致します。

その他、大本堂御寶前のお花、皆様にお配りする新聞『聖徒タイムズ』・寺報等の援助などに活用します。

会費・・・年額二、四〇〇円（月二百円）

### 二月の行事

一 日（水）盛運祈願会 午後一時より

・毎月のお守り【靈神符】の交換の日です。

・自ら進んでお勤めに参加しましょう。

・聖典（お経本）と数珠は必ずご持参下さい。

三 日（金）節分会 午後六時より

六 日（月）甲子【大黒様の日】 朝のお勤め

十一日（土）妙見小祭 朝のお勤め

十三日（月）日蓮大聖人のご命日 午後一時より

・お経 如来神力品第二十一（訓読・日本語読み）  
如来寿量品第十六（真読・漢字読み）

二十四日（金）鬼子母神小祭 朝のお勤め

二十五日（土）「加藤曉宏上人・祈禱会」

午前十時行列・十時半水行・十一時祈禱会

### ☆奉仕のお知らせ

三 日（金）「節分会」のお手伝いと後片付け

教宣部男女・午後三時より

二十三日（木）「加藤上人祈禱会」の準備

教宣部男女・午前十時より

\*大本堂の祭壇・幕・幟・水行の準備

二十五日（土）「加藤上人祈禱会」

教宣部男女・午前九時より

\*今月は、「節分会」と「祈禱会」の大有事がありますので、お手伝いの方が沢山必要です。

どうか皆様のご協力をよろしくお願い致します。

① 一般檀信徒の方でご奉仕出来る方は、当日時間までご集合下さい。

◎奉仕部長・山田兼補 ◎伝道部長・小野正春

◎教宣部長・杉淵昌三

加藤曉宏・日曉上人

# 大 荒 行 祈 禱 会

二 月 二 十 五 日 ( 土 )

午 前 十 時 . . . 行 列 ( 常 光 寺 前 )

午 前 十 時 半 . . . 水 行 ( 大 本 堂 前 )

午 前 十 一 時 . . . 祈 禱 会 ( 大 本 堂 )



初 行 加藤日曉上人【筒 木 坂・要 心 寺 修 徒】  
 正 伝 師 工藤日温上人【宇 田・聞 法 寺 住 職】  
 再 行 木立日大上人【黒 石・法 峠 寺 修 徒】  
 再 行 横山日悠上人【碓 ヶ 関・法 華 寺 住 職】  
 初 行 天間日恩上人【十 和 田・報 恩 結 社 修 徒】  
 初 行 藤本日智上人【造 道・延 寿 寺 修 徒】  
 初 行 齋藤日受上人【む つ・龍 本 寺 修 徒】

☆特別加持・・二千円 ( 荒行札・護符・読上げ )

☆一般祈願・・千 円 ( 祈願札・読上げ )

\* 二月三日より受付